

第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開

1 ヨーロッパ文化との接触と国内統一

1 ヨーロッパ文化との接触 (教科書 P. 104~105)

▶大航海時代とアジア [p. 104]

[] の背景…ルネサンスと []

→ヨーロッパ人のアジア進出

造船技術の向上, 羅針盤の改良, 天文学・地理学の発展

[] によるアメリカ大陸到達 (1492年~1493年)

[] によるインド航路の発見 (1497年~1499年)

[] 一行による世界一周 (1519年~1522年)

ポルトガルの拠点 = []・[]・[]

スペインの拠点 = []

▶鉄砲の伝来と南蛮貿易 [p. 104]

[] 伝来の背景…王直に代表される後期倭寇の全盛期, 日本の東南海域で盛んな物流

鉄砲の製造…日本の高い刀鍛冶の技術力→国内で量産化

戦法の変化… [] の騎馬戦から足軽鉄砲隊などによる [] へ

築城法の変化… [] → [] : 機動性を高めるために家臣の城下町集住が進む

[] 貿易

相手国: ポルトガル・スペイン

主要港: 平戸・長崎・豊後府内

輸入品 = 中国産の []・絹織物, []・[] など

輸出品 = []

▶キリスト教の伝来 [p. 105]

[] (カトリック) 宣教師 []



1549年 [] に来航

2年前にマラッカで日本人アンジロー (ヤジロー) と出会ったことがきっかけ

ザビエルの足跡 = 京都を訪ねた後, [] の大内氏, [] の大友氏の

保護下で布教

その後も宣教師が渡来→各地に〔 〕(教会),〔 〕(神学校),
〔 〕(宣教師養成所)などを建設

貿易の利益を望み, 戦国大名の中には洗礼を受ける者もいた(=〔 〕)

1582年〔 〕の派遣

宣教師〔 〕がキリシタン大名,〔 〕・〔 〕・
〔 〕に勧める

4人の少年(伊東マンショ・千々石ミゲル・中浦ジュリアン・原マルチノ)を派遣

→ローマに行き, 教皇グレゴリオ13世に謁見

→1590年に帰国(ただしバテレン追放令が出た後だった)